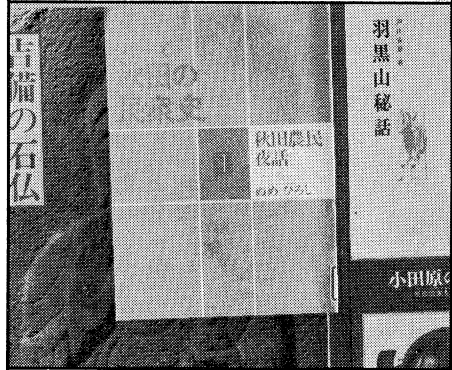


ふるさとのほん

— 叢書編 —

県立図書館資料整理係長
竹花孝司



図書館コーナー

昨年(の)二月、西武百貨店で「東北の本まつり」が開催されたのに続き、今年も二月二六日から三月三日まで、「全国ふるさとの本まつり」というブックフェアが開催された。このブックフェアに参加した出版社は二九五社で展示出版物は五〇〇〇点に及んだという。地方出版物の全国的なフェアは、はじめてであり、画期的な意義を持つといえよう。

当館では、地方出版物の収集には力をいれているが、今回は「叢書」として刊行された「地方出版物」のなかから、当館で収集したものを北から紹介しよう。利用いただければと思う。

。さっぽろ文庫(北海道新聞社 昭和五二年)各九二〇〜九八〇円)

1 札幌地名考 2 札幌の街並 3 札幌

風物誌 4 豊平川 5 札幌の詩 6 時計台 7 札幌事始 8 札幌の橋 9 札幌の短歌 10 札幌風土記 11 札幌の駅 12 藻岩・円山 13 昭和20年の記録 14 豊平館・清華亭 15 冬のスポーツ 16 札幌の絵画 17 遠友夜学校 18 お雇い外国人

。あきた文庫(秋田書房 昭和五〇)各六三〇円)

1 小作農民の証言 2 花岡事件ノート 3 院内銀山考 4 北方農民詩の系譜 5 樺太の出稼ぎ(林業編) 6 銃後の戦史 7 稲の民俗誌 8 無重力の風土 9 樺太の出稼ぎ(漁業編) 10 戦争のなかの教師たち 12 戦場の証言 13 青刈り日記 14 風雪とカルテ

。シリーズ秋田の民衆史(秋田文化出版)

版社 昭和五三)各九〇〇〜一〇〇〇円)
1 秋田農民夜話 2 秋田の木工職人 3 雄物川往来誌(上)
。とうほくぶつくす(東北出版企画) 昭和五〇)各六〇〇〜八八〇円)
1 黒川能村いらの報告 2 羽黒山秘話 3 赤紙ってなあに 5 明治維新に火をつけた男清河八郎 6 出羽三山の絵 7 出羽の庄内早物語開書 8 出羽路の石仏 9 出羽の方言

。有隣新書(有隣堂 昭和五一)各六八〇円)

1 港都横浜の誕生 2 鎌倉と運慶 3 危険都市 4 古き横浜の壊滅 5 ヘボンの手紙 6 六兵衛ボンジュールかながわ 7 鎌倉英人殺害一件 9 災の生糸商中居屋重兵衛 10 相模のものものふたち 11 将軍と町医 12 ロチのニッポン日記 13 鎌倉大仏 14 箱根七湯 15 太平寺滅亡 16 幕末邦連の人びと 17 メルメ・カンヨン 18 戦下に生きる 19 大空襲5月29日 20 横浜の作家たち 21 マリア・ルス事件 22 ベリー提督

。小田原文庫(名著出版 昭和五一)各七八〇〜九八〇円)

1 小田原合戦 2 小田原史跡めぐり 3 石橋山合戦前後 4 北条早雲 5 小田原歳時記・昔話 6 小田原の刀剣 7 近世小田原ものがたり 8 北原白秋と私 9 小田原評定 10 曾我兄弟 11 小田原城主大久保忠世・忠隣 12 小田

原の甲冑

。山陽カラーシリーズ(山陽新聞社 昭和五五)各九八〇円)

1 岡山の城 2 吉備の石仏 3 桶築遺跡 4 倉敷の町屋 5 美作の古寺 6 備讃瀬戸 7 岡山の仏画 8 岡山・明治洋風建築 9 大原美術館西洋の絵画 10 吉備の巨墳 11 吉備石の塔 12 閑谷学校 13 岡山の金毘羅往来 14 笠岡諸島 15 岡山の武家屋敷 16 備中の古寺 17 吉備津神社 18 岡山の名庭古庭 19 岡山の民家I 20 那岐・後山 21 吉備古代山城鬼ノ城 22 日生諸島 23 吉備の塔 24 津山城下町 25 山陽道の宿場町 26 蒜山 27 備前の古寺 28 大山みち 29 岡山の民家 30 岡山の甲冑 別黒住宗忠

。鉾脈叢書(鉾脈社 昭和五四年)各二〇〇〜一六〇〇円)

1 宮崎の詩・戦後篇① 2 宮崎の田の神像 3 記録・宮崎の空襲 4 宮崎の詩・戦後篇② 5 よだきぼの世界 6 みやざき新風土記 7 総合制高校の理念と実践 8 民具再見 9 宮崎の民家 10 五つの流れの歌 11 ふるさと民話考

なお、「ふるさと文庫(筑波書林)」「岡山文庫(日本文教出版社)」については、省略する。